

伊勢志摩サミット関連予算の概要

伊勢志摩サミット関連予算の状況	予算区分	予算額	財源内訳 (単位:千円)					
			県		国	その他		
			県費	県債	基金繰入金	国庫支出金	寄附金	その他
27年度 12月補正まで	6,688,915 【6,701,915】	285,114	5,489,000	342,589	419,159	150,000	3,053 【16,053】	
27年度 2月補正	1,077,153	▲328	▲1,395,000	205,931	1,986,550	280,000	0	
28年度 当初	1,538,873 【1,551,873】	843,595	0	0	665,257	20,000	10,021 【23,021】	
計①	9,304,941 【9,330,941】	1,128,381	4,094,000	548,520	3,070,966	450,000	13,074 【39,074】	
27年度 最終補正②	99,392	▲121,993	▲565,000	▲142,788	932,173	0	▲3,000	
総計(①+②)	9,404,333 【9,430,333】	1,006,388	3,529,000	405,732	(★)4,003,139	450,000	10,074 【36,074】	

※【 】書きは、県民会議における市町負担金分(平成27、28年度とも13,000千円)を含む額を表記

(★)国からの財政支援:公共事業関係(27.1億円)、警察費補助金(4.7億円)、地方創生関係(3.6億円)、消防防災救急関係交付金(3.5億円)、医療施設等設備整備費補助金(1億円)

1 伊勢志摩サミット推進局分

805,653千円

開催支援:125,504千円

各国首脳等の歓迎・交流/インフォメーション機能の整備/報道関係者等の歓迎・支援等

おもてなし:110,466千円

クリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動/サミットフォーラムの開催等

明日へつなぐ:160,144千円

ジュニア・サミット参加者との交流等/国際理解・国際交流プログラム等/大学生・留学生との交流事業(※1)/サミット記念館の設置(※1)等(※1:サミット終了後の事業)

三重の発信:280,992千円

三重県情報館(仮称)の設営・運営/海外プレスツアー、プロモーション/県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR/動画CMの放映等

その他事務所設置費・運営費等:128,547千円

県民会議事務局運営費・会議費、現地事務所設置経費等

2 安心・安全な開催に向けた対策

8,624,680千円

テロ等対策費:1,452,298千円

主要国首脳等の身辺の安全確保、伊勢志摩サミット及び関連行事の円滑な進行の確保並びに安全・安心な県民生活の確保に万全を期する。

消防防災関係サミット対策事業:357,691千円

防災・危機対策に万全を期すため、消防・救急特別警戒体制の確保等に向けた取組を推進する。

食の安全食品検査事業:17,711千円

食品関係施設の監視指導、食品の検査等に関する必要な事項を定め、食品による事故発生を防止する。

災害医療体制強化推進事業:5,848千円

伊勢志摩サミット開催時における緊急医療体制を確保するため、現地医療本部を設置する。

公共事業:6,167,900千円

国補事業:5,281,298千円(うち外務省:1,232,353千円、うち国交省:4,048,945千円)、県単事業:886,602千円

その他事業:623,232千円

ジュニア・サミットについて

目的

ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達に交流機会を提供する。

開催内容について

- 名称:「2016年ジュニア・サミット in 三重」
- 開催期間(予定):平成28年4月22日から28日まで
- 主会場:ナガシマリゾート(桑名市長島町浦安)
- 主催:外務省、共催:伊勢志摩サミット三重県民会議
- 討議テーマ:「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」
- 参加者:G7各国の原則として15歳～18歳の4名のチーム(男性2名、女性2名)及び付添人1名
- 使用言語:英語
- 主なプログラム(暫定):
4月22日(金)開会式、会議
4月23日(土)会議、討議に資する視察、交流行事
4月24日(日)会議
4月25日(月)県内分散型体験・交流行事
4月26日(火)会議、三重県送別行事、東京に移動
4月27日(水)、28日(木)政府首脳に成果文書提出、都内視察

日本代表参加者(4名)

- 稲葉 陽樹(いなば はるき)三重県立津高等学校(2年)
- 加藤 杏弥(かとう あみ)三重県立川越高等学校(2年)
- 上堀内陸王(かみほりうちりくおう)私立東海高等学校(愛知県)(1年)
- 藤山 春衣(ふじやま はるい)三重県立四日市高等学校(2年)

討議に資する視察について

討議テーマである「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」に基づき、環境保全と経済成長を両立し、健全な環境を次世代に継承し、持続的な発展をする方策について議論するため、三重県ならではの討議テーマに関する視察を行う。

- 実施予定日:平成28年4月23日(土)午後
- 視察先:赤須賀漁業協同組合(桑名市)
四日市公害と環境未来館(四日市市)
NTN(株)先端技術研究所(桑名市)

県内分散型体験・交流行事

県内4コースに分散して各地を訪れ、三重の美しい自然や豊かな伝統・文化などを体験・体感するとともに、県内高校生をはじめ県民との交流を深める。

- 実施予定日:平成28年4月25日(月)
- 訪問先(4コース分散型):
Aコース:御在所ロープウェイ(菰野町)、鈴鹿サーキット(鈴鹿市)、関宿(亀山市)
Bコース:深野だんだん田(松阪市)、まごの店(多気町)、一身田寺内町 専修寺(津市)
Cコース:伊賀流忍者博物館(伊賀市)、赤目四十八滝(名張市)
Dコース:伊勢神宮(伊勢市)、いつきのみや歴史体験館(明和町)

